

屋外設置形

ドレンアップユニット

取扱説明書 保証書付

| | |
|-----|-----------|
| 型番 | 138-T060型 |
| 型式名 | DUU-01 |

このたびはドレンアップユニットをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

その際、ドレンアップユニットの銘板をご覧のうえ、型番をお知らせください。

機器本体やリモコン(別売品)などに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



もくじ

ページ

| | |
|------------------|-----|
| 安全に正しくお使いいただくために | 2 |
| この取扱説明書の表示について | 2 |
| 機器本体の表示について | 2 |
| 必ずお守りください | 2 |
| 各部の名称 | 3 |
| 冬期の凍結予防をするには | 4 |
| 再使用する時 | 6 |
| 凍結してしまったとき | 6 |
| 点検のポイント・お手入れのしかた | 7 |
| 点検のポイント(月1回程度) | 7 |
| お手入れのしかた(月1回程度) | 7 |
| 点検・お手入れ後の確認 | 7 |
| 故障かな?と思ったら | 8 |
| アラーム表示について | 8 |
| アフターサービス | 8 |
| 仕様一覧 | 9 |
| 保証書 | 裏表紙 |

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

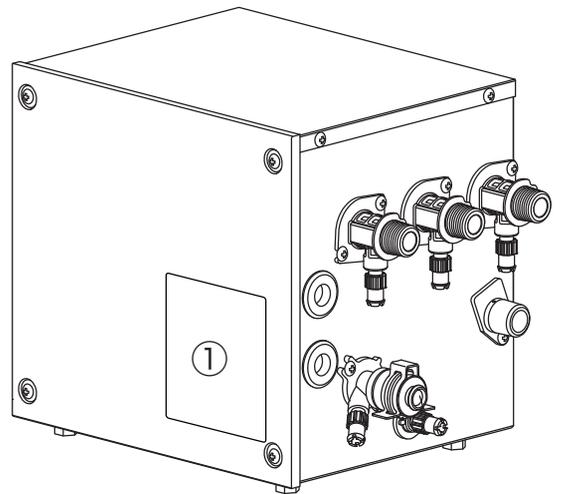
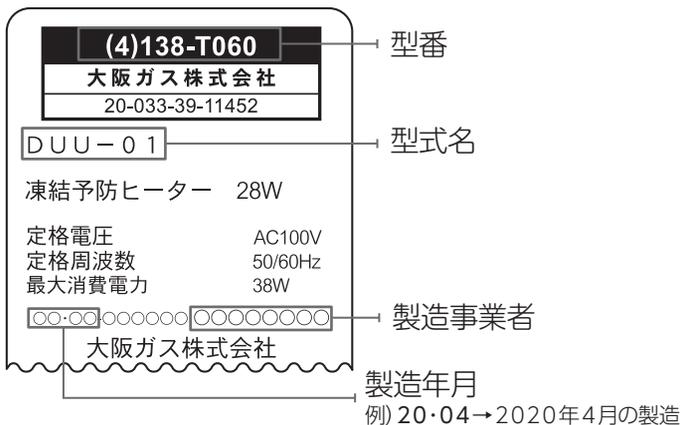
(→P.XX) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

ドレンアップユニットは、発電ユニット架台の下や熱源機の配管カバー内に設置されています。この製品の型番は、以下の方法で確認することができます。

①銘板

型番・型式名・製造年月・製造事業者等を表示しています。



安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

必ずお守りください



警告

ドレンアップユニットの取り付け工事

- ドレンアップユニットの取り付け工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ依頼し、正しく設置する。



必ず行う

改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



分解禁止

必ずお守りください

⚠️ 注意

ドレンアップユニットや配管の接続部などに乗らない

● けがや機器の変形による故障のおそれがあります。



禁止

排出されるドレン水について

● ドレンアップユニットから排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。ドレン水に触ってしまった場合は、念のため水道水で洗い流してください。



禁止

発電ユニット架台または熱源機の配管カバーについての注意

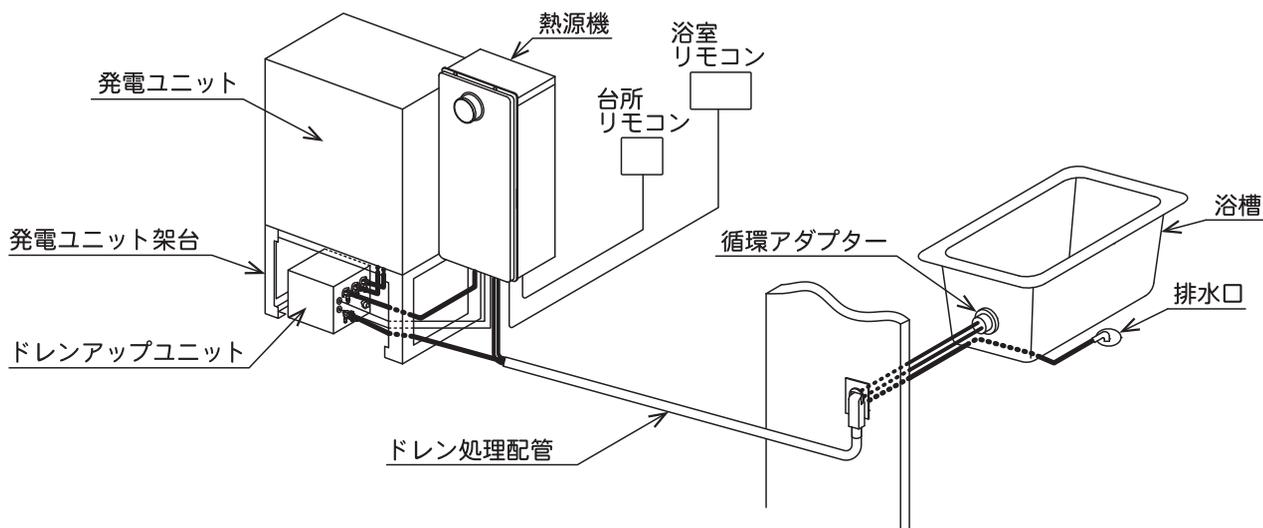
● 発電ユニット架台または熱源機の配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、確実に締め付ける。(→P.7)



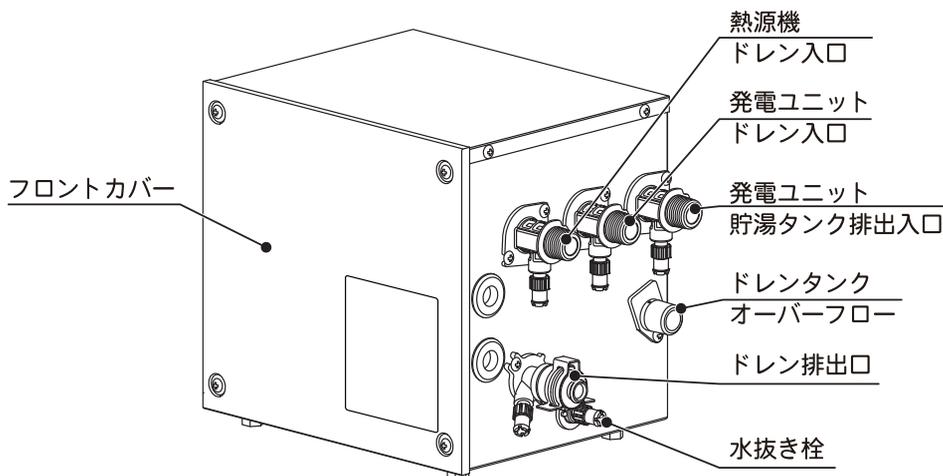
必ず行う

? 各部の名称

□ システム図



□ ドレンアップユニット



各部の名称



冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2

← 外気温が-15℃を下回るとき
-15℃より高くても風のある日
長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータとドレン水を排水して凍結を予防する凍結予防装置がついています。

熱源機の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、リモコンのON/OFF ボタンの「ON」/「OFF」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

【凍結予防ヒータ】

熱源機の凍結予防装置の動作とは別に、ドレンアップユニットには気温が下がると自動的に凍結予防ヒータが動作し、凍結を予防します。

【凍結予防排水】

熱源機の凍結予防装置が動作する際、ドレンアップユニットのドレンタンクにドレン水がたまっていると排出を行います。最長6分間排出動作を行います。



冬期の凍結予防をするには



注意 ●発電ユニット架台または熱源機の配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、確実に締め付ける。(→P.7)



必ず行う

処置 2

機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排出し凍結予防をします。熱源機の水抜きと同時にいきます。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

まずは準備

◎発電ユニットの水抜きをする(必ず最初に行ってください)
詳細は発電ユニットの取扱説明書をご覧ください。

1

熱源機の水抜き栓を外すタイミングで、ドレンアップユニットのすべての水抜き栓を水が出るまで緩める

熱源機の水抜き方法は熱源機の取扱説明書をご覧ください。ドレンアップユニットは、発電ユニット架台の下や熱源機の配管カバー内にあります。※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図をご覧ください。

2

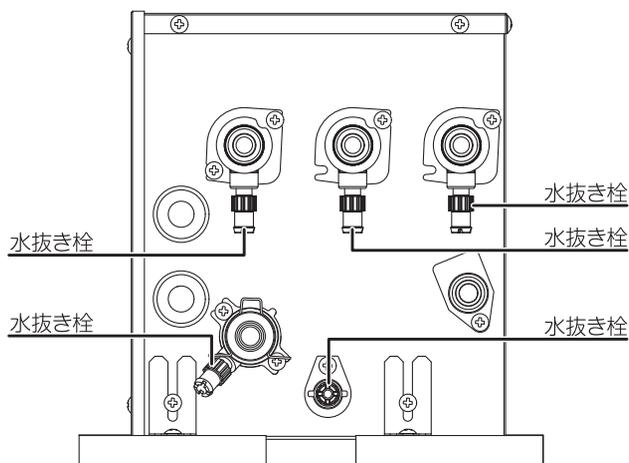
必ず熱源機の電源プラグを抜く

コンセントは熱源機の周辺にあります。電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因になります。

3

水抜き栓からの排水(10分以上)を確認し、すべての水抜き栓を確実に閉める

□水抜き栓位置図



お願い

●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。



冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の確認をしてください。



注意

●発電ユニット架台または配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、確実に締め付ける。(→P.7)



必ず行う

1 すべての水抜き栓が閉めてあることを確認する

※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.5)をご覧ください。

2 機器や配管より水漏れがないか確認する

■凍結してしまったとき

ドレンアップユニットが凍結してしまうと、ドレンタンクにドレン水をためることができず、ドレンタンクオーバーフローからドレン水が出ます。

解凍すればドレン水がたまった時点で、ドレン処理配管を通じて排水口に排出します。

お願い

●再使用するときは、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

点検のポイント・お手入れのしかた

| | | |
|--|---|---|
|  警告 | <ul style="list-style-type: none"> ●ドレンアップユニットのフロントカバーを外したり、分解したりしない。 |  分解禁止 |
|  注意 | <ul style="list-style-type: none"> ●お手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤(塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤)、みがき粉(研磨剤の入った洗剤)、メラミンスポンジを使用しない。変色や傷・割れなどの原因になります。 ●お手入れはけがなどしないように、手袋などを着用し十分注意して行ってください。 |  禁止 必ず行う |

■点検のポイント(月1回程度)

次の6つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
3. 機器の外観に異常は見られませんか？



■お手入れのしかた(月1回程度)

- 熱源機のお手入れをするときに、一緒に行ってください。
- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。

■点検・お手入れ後の確認

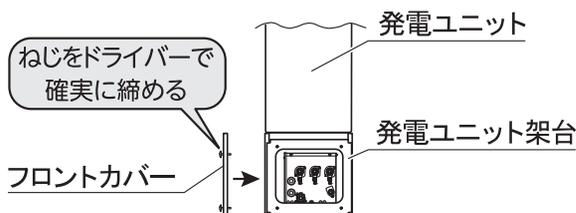
点検・お手入れ後、機器の使用中に機器や配管からの水漏れまたは異常音がするときは、機器の使用を中止し、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

発電ユニット架台または熱源機の配管カバーのフロントカバーについて

発電ユニット架台または熱源機の配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元のとおり取り付けてください。

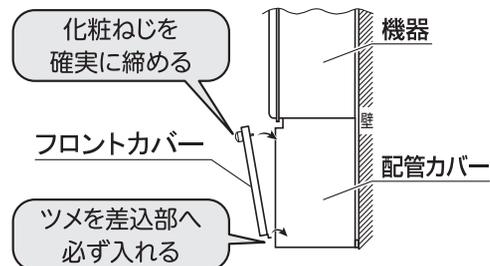
発電ユニット架台の場合

- ①発電ユニット架台のフロントカバーを、ドライバーで緩みが無いように確実に締める。



熱源機の配管カバーの場合

- ①配管カバーのフロントカバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
 - ②化粧ねじを緩みが無いように確実に締める。
- ※ねじに緩みがある場合、強風でフロントカバーが外れるおそれがあります。



点検のポイント・お手入れのしかた

故障かな?と思ったら

■アラーム表示について (熱源機のリモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因を熱源機のリモコンにアラーム番号で表示または点滅してお知らせします。

アラーム番号が表示した場合には、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください。

| アラーム番号 | 原因 | 状態 |
|--------|----------------|--------------|
| 290 | ドレンポンプ故障 | 修理を依頼してください。 |
| 440 | ドレンタンク水位電極異常 | 修理を依頼してください。 |
| 640 | ドレンポンプ故障 | 修理を依頼してください。 |
| 769 | ドレンアップユニット通信異常 | 修理を依頼してください。 |

アフターサービス

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.8)をご確認ください。
お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをご知らせください。
 - (1)お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)型番:138-T060型
 - (3)現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4)訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- 転居・増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または、転居先のガス会社へご相談ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は**機器の水を抜く方法**(→P.5)をご確認ください。
※機器の故障や凍結を防止するため。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後13年です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへお問い合わせください。

仕様一覧

〔仕様表〕

| 項 目 | | 内 容 | |
|--------------|---|------------------|---------|
| 型 番 | | 138-T060型 | |
| 型 式 名 | | DUU-01 | |
| 外 形 寸 法 (mm) | | 幅250×奥行200×高さ240 | |
| 質 量 (kg) | | 5 | |
| 設 置 方 式 | | 屋外設置形 | |
| 接 続 | 熱 源 機 ・ ド レ ン 入 口 | G1/2オネジ | |
| | 発 電 ユ ニ ッ ト ・ ド レ ン 入 口 | G1/2オネジ | |
| | 発 電 ユ ニ ッ ト ・ 貯 湯 タ ン ク 排 水 入 口 | G1/2オネジ | |
| | ド レ ン 排 出 口 | CHM ジョイント | |
| 続 電 | ドレンタンクオーバーフロー | R1/2オネジ | |
| 電 気 関 係 | 電 源 | AC100V (50/60Hz) | |
| | 消 費 電 力 | 待 機 時 | 0.5W 以下 |
| | | ドレンポンプ運転時 | 38W |
| | 凍 結 予 防 時 | 28W | |
| 安 全 装 置 | 漏電安全装置 (漏電スイッチ) 凍結予防装置 (凍結予防ヒータ・ポンプ運転) | | |

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。